



日立社友クラブ 茨城支部

茨城支部 便り

第76号

2021年7月20日

編集兼発行人

谷口 正俊

HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI

保和苑の紫陽花



撮影者：藤原 延弘

撮影日：2020年6月19日

撮影場所：保和苑(水戸市)

撮影余話：紫陽花時期の保和苑に初めて行って見た。実は2日前に北茨城あじさいの森にも行って、迷路みたいで野趣たっぷりな迫りに圧倒されてきたが、こちらは管理された庭園の中でのボリューム感と配色の演出に魅了された。

ここはもともと光圀公が愛された寺の庭が「保和園」と名付けられたことが始まりで、昭和30年代に拡張整備されて紫陽花の植栽が行われ、現在は1.5haの敷地に約100種6,000株の紫陽花が咲き競っている。

支部動向

1. 日立オリジンパーク建設近況

日立オリジンパークの現況を5月24日に空撮された写真で紹介する。日立オリジンパークは6月末に建屋工事が完了し、7月から展示工事が始まる。9月末オープン予定だが一般公開時期は未定。大みかクラブ内の日立社友クラブ茨城支部も改修され、移設開所は10月中旬の見込みである。



日立オリジンパーク 2021. 5. 24 撮影

2. 茨城支部・同好会の活動状況

2021年5月28日(金)に開催を予定していた日立社友クラブ茨城支部の総会及び懇親会の開催は、新型コロナウイルスによる感染症の終息が見通せない状況を鑑み中止した。

支部・同好会活動は、ワクチン接種が普及するまでは支部ホームページ掲載の「新型コロナウイルス対策のお願い」と施設管理者の利用条件に従い活動を行っている。

3. 会員の動向

1) 新入会員

6月17日役員会で新入会員6名が承認され、支部会員総数は961名(前年同期比5名減)となった。今後とも会員勧誘の呼びかけをお願いしたい。

2) 米寿・喜寿到達者の紹介

支部総会が中止となったので紙上で紹介する。(敬称略 生年月日順)

2-1) 米寿祝 21名：1933(昭和8)年生れ

山口 幸男	樗木 康夫	窪添 守起
斎藤 奎二	石田 周二	横須賀元也
大国 哲男	植西 晃	一瀬 武郎
佐々木 韶美	安保 勝夫	涌井 滋
田村 一二三	栗本 茂	寺西 一夫
中野 修一	神田 昌男	谷越 敏彦
岡村 参次	大越 健児	佐藤 幹夫

2-2) 喜寿祝 30名：1944(昭和19)年生れ

福井 宏	安富 健	松丸 宏
笹井 五郎	半澤 晨夫	藤永 高正
山口 敬三	妹尾 克己	三ヶ月 勉
白川 晋吾	畑山 直勝	高草木 常彦
荻谷 忠昭	田中 孝雄	末松 敏昭
渡辺 孝	眞田 高宥	小嶋 康行
緑川 正和	河野 行弘	吉田 直美
緒方 秀夫	長谷川 孝	宮寺 博
細江 徹	谷口 正俊	川又 諭
宇佐美三郎	河島 弘明	三田 敏男

茨城支部からのお知らせ

* 第70期第2回 日立社友クラブ理事会報告

- ・本部会員総数は7,396名。
- ・2021年度の社友総会は中止となった。社友だより臨時号発行による「書面開催」で代替える。

* 茨城支部役員会報告 2021年6月

- ・支部入会申込者6名の入会が承認された。
- ・日立オリジンパークの工事状況を勘察し、泉山拠点の借用を9月末まで延長要請した。

日立社友クラブ茨城支部ホームページ
日立理科クラブホームページ

<http://shayuu-iba.la.coocan.jp/>
<http://hitachi-rika.sakura.ne.jp/>

野鳥に魅せられて ～野鳥を追って40余年～

石川 皓



野鳥との出会い

40数年前の夜、

石内社宅の玄関前の松の木にフクロウ(アオバズク)が

来て鳴いた事件があった。また庭によく小鳥が見られた。子供の頃から蝉などの昆虫に興味を持っていたこともあり、野鳥にも多少の興味が出てきた。その後工場建屋の陰で喉のところが赤い変わった小鳥を拾った。ノゴマと言う鳥で北海道で夏見られる鳥と分った。渡りの途中にハヤブサなどに追いかけてられて高い工場の建物に衝突したものだと思えた。このようなことから場内で見られる鳥に好奇心を持つようになり、昼の食堂への行き帰りなどに林や広場で鳥の影を探すようになった。その後長期の出張などでその地方の鳥を見るのが休日の日課となったりした。この頃は双眼鏡を購入し単独で図鑑と識別ハンドブックで何鳥かの同定をしていたが、石川県への出張の際、日本野鳥の会石川支部の探鳥会に参加して探鳥会のやり方などを学んだ。これは後に日本野鳥の会茨城支部に入会し、自分が探鳥会のリーダーで探鳥会を受け持った時に役立った。

日本野鳥の会と探鳥

リタイア後、自由な時間ができてからは専ら野鳥を追いかけて楽しんでる。日本野鳥の会が県内外で催している探鳥会に参加したり、個人で訪ねたりした。それぞれの環境でそこで見られる野鳥の種類を知ることができた。また南は沖縄諸島、奄美大島、北は北海道、渡りの途中の中継地点となる飛鳥(酒田沖)など本土では見られない種類を見に出かけた。

沖繩と奄美大島へはツアーで連れて行ってもらった探鳥であったが、それ以外は鳥仲間と自分らで出かけた。探鳥と言っても初めての場所を道路標識を頼りに鳥のいるような所を探しながらで、探鳥場所は前以て調べているが効率の悪い探鳥旅行だった。これらの遠出の他、上信越や裏磐梯、奥日光などを訪れている。特に裏磐梯や奥日光は現在も毎年訪れ楽しんでいる。このように広い範囲での探鳥以外に固定した場所(自分のフィールド)を決めて多い時には月に数回通って探鳥し、出現種類を時期的に記録に纏めて鳥の動向を観察している。環境の変化等で見られなくなったり、渡りの時期にのみ見られる種類などがある。過去の確認時期から今年もそろそろ見られる頃と、会えるのを楽しみに通っている。

野鳥の撮影

最近野鳥の写真撮影が盛んである。野鳥撮影は目的の野鳥がいる場所まで時間をかけて、時には何日もかけて同じ対象を撮影することが多いが、探鳥会などでの写真は存在の確認の証拠にしたり、同定のための場合が多い。フィルム撮影の時代の野鳥撮影は写真を撮っても現像してみないと結果が出ないのが容易ではなかったし費用も掛かった。デジカメになってその場で結果が判り駄目ならそれを消して再度撮影でき、現像しなくてもカメラのモニターなどで容易に見ることができ



アオバズク(千波湖湖畔)

るので野鳥撮影で利用するようになった。探鳥会時に撮った写真の一部を毎年末のデジカメクラブとの合同写真展に展示している。鳥単独の写真が多く身の周りで見られる野鳥の図鑑として見ていただけだと思っている。

ボランティア活動

日本野鳥の会に入って野鳥に関する左記ボランティア活動を、単独又はメンバーと協力して行ってきた。

- ①野鳥繁殖期に見られる担当区分の野鳥を調査し、県内全域での生息分布報告書に協力することができた。(茨城県野生鳥獣生息分布調査報告書 平成17、18年度)
- ②日立市の自然公園の設置に対する事前の鳥類調査から観察施設の設計、完成後の野鳥観察会などに携わり現在も続けている。(久慈町赤羽緑地自然公園)
- ③市内、市外小学校の野外授業の協力。
- ④日本野鳥の会茨城県の幹事や探鳥会のリーダー担当。
- ⑤ガン、カモ類の全国調査の協力。
- ⑥日立市環境政策課主催探鳥会講師、環境フェスタに参加。

支部同好会活動

支部同好会に野鳥・自然観察グループがあり、野鳥観察が主だが探鳥時に出会える野草や昆虫なども対象に入れるこのグループにも顔を出している。この同好会は8月を除いて



ノゴマ(北海道ウトナイ湖)

毎月探鳥会を開いている。発足以来20年を超えて続けおり、2020年3月には200回を数えている。参加者は同好会会員の他、一般参加もあり毎回20人前後である。初めての方も一度参加されるとはまってしまふことが多い。最近では野鳥写真撮影目的の方もいる。発足時から日本野鳥の会のメンバー数名で世話人をやってグループの運営、計画、探鳥会を担当している。



探鳥会を指導する筆者
赤羽緑地観察施設前にて

探鳥会場の所は主に県北の探鳥場所を中心に時には県外にも出かける。探鳥場所は時期に応じて野原や山林、河口、海岸など対象種類が多く見られ、歩きやすい所を今までの実績などから決めていく。探鳥会はリーダーのもと全員で野鳥を探し、できるだけ全員で確認できるようにしている。リーダーは探鳥会当日の近い日に下見をして環境状況やどのような種類が何処で出る可能性があるかなど調べ当日に備えている。最後に当日会えた野鳥の種類を皆で確認して終了する。今までの野鳥を追いかけてきた経験から「探鳥について」纏めてみました。家の周りの野鳥や散歩などで見かける野鳥に関心を持っていただければ幸いです。

石川 皓氏 連絡先

〒316-0025 日立市森山町 2-9-1
電話: 0294-53-7064
メール: aishikajp@vzb.ne.jp

リレー随筆 (76)

自分の車で日本全国走破 谷中 雅雄



趣味は「パソコンとDIY、そしてゴルフとドライブ」と昔から公言してきたので、退職時の送別会で、「日本の高速道路を自分の車ですべて走る」と宣言してしまいました。そこで、四国(2000年)、九州(2001年)、北海道(2002年)、北陸・東海(2003年)、山陽・山陰(2004年)をそれぞれ1週間前後で走破し、東北および関東はその合間に走り、5年目の2004年に道東および紀伊半島を除き、ほぼ完走しました。走るだけでは、特に同行の妻にとり、これほど退屈なことはないので、観光にも力を入れました。以下に北海道を例に書いてみます。

2002年6月に、青森港経由フェリーで函館へ渡り、道央自動車道の南端の長万部(国縫 IC)から高速に乗り、北端の旭川の手前の深川 ICで降りました。そのあとは観光ということで、留萌の鯨番屋見学、さらに稚内までの西海岸をサロベツ原野・原生花園などを楽しみながら走り、稚内観光後、最北の二島、利尻、礼文を観光・ドライブしました。利尻から礼文へのフェリーの乗客は宅急便と私の車だけでした。



愛車と利尻富士(2002. 6. 12)

稚内へ戻って、宗谷岬に立ち寄

り、クッチャロ湖を観光し、紋別から内陸に入り、そして道央道の最北端の和寒 IC で高速に乗り札幌まで戻りました。これで道央道は全線走ったので、札幌から札幌自動車道で小樽まで走り、積丹半島などを観光した後、函館港からフェリーで青森の大間港経由で帰りました。11日間約3000km(高速1370、一般道1630)のドライブでした。

2002年に走れなかった道東自動車道は2006年の10月に再計画し、大洗からフェリーで苦小牧に上陸したのですが、北海道の气象台始まって以来の強風とかで、襟裳や根室の宿からは「できるなら来ないでほしい」と言われる始末でした。残念ながら、千歳・夕張間のみを走り、あとは富良野・



北海道中心標の前で
2006. 10. 10 富良野小学校

支笏・洞爺の観光に変更しました。その後2009年の6月に再チャレンジし、足寄からトマムまで延伸された「貸切」のような道東自動車道を走り、さらに新開通で「無料供用中」の日高自動車道も全線走りました。

2009年の10月には、紀伊半島の阪和道(2005年に高速道に格上げ)と紀勢・伊勢道も完走しましたが、沖縄は全く走っていませんし、各高速道路も延伸部分があり、新設もあります。免許証を返納すべき年齢が近くなり「自分の車による長距離ドライブ」は諦める時期かもしれないと感じています。

同好会行事に参加して

「料理教室」

薄 浩八



料理教室に関して21年になる。2001年10月に久慈浜の利久の坂本さんをお願いしてレシピがないままスタートし、その後場所を変わりながら今日に至っている。受講希望者が多く月2回に分けて実施し、「魚の捌き方」に苦戦した思い出がある。2003年には「山本料理教室」に移り、晩酌料理の基本を学び、3年近く腕を磨いた。その後「明治商会」殿の料理教室に移りパンの調理を学んだ。2013年からは講師に高橋友子先生を迎えて「らぼーる ひたち」で幅広い日本料理に取り組んでいる。目下はコロナ禍で休会中であるが、早期再会を願っている。

場所の選定や講師の依頼等一切を仕切って来てくれた澁口七郎さんに感謝を申し上げる。

「PC基礎講座」

戸波 宗彦



『ワッハッハ』・・・今日も安田講師の元気な笑い声から講座が始まる。まず「新聞」「市報：日立港のLNGタンク」などのトピックスで情報交換、続いて「会員質問」への回答。本「PC基礎講座」は内容が幅広く、「今さら人に聞けないあのコトを教えて」「ずるいキーボード操作」等々とあるが実際はテーマの印象とは異なり、実に多彩で有用なノウハウ情報が飛び交う刺激いっぱい道場である。私がデジタルデバイドの線上に辛うじて残

れたのも、歴代のすぐれた講師陣の苦心の賜物であると深く感謝している。かつて山田和夫講師から「指先が震えてキーを2度押すようになったらシニア教室へ移って下さい」と云われ皆大笑いしたものだが、今やその年齢に来てしまった。Corona製タイプライターで遊び始めてから75年、今では多くのメール仲間と共にPCライフをエンジョイする毎日である。

「写真五七五」

岡本 寛



「写真五七五」に参加して約3年になります。入会のきっかけは、最初にいただいた日立社友クラブ茨城支部同好会の行事のご案内、定例行事予定一覧の写真五七五連絡先に故武田孝一先生のお名前があったからです。武田先生に俳句を教えて頂こうと思いましたが、その時まで俳句を作ったことが無かったので、先ず俳句の勉強をする必要がありました。最初に『歳時記』を購入、季語の勉強をしました。四季及び新年があり、さらに時候、天文、地理、生活、動物、植物に分類されており、俳句が季節の風物に対する感動を表現する詩であることを知りました。

俳句を習い始めた頃、武田先生が亡くなられたとの情報が入りました。入会意欲がそがれましたが、意を決して2018年9月5日に初参加しました。会員の皆様から勉強会等で教えていただき俳句らしい句を詠むことができるようになりましたが、これぞというものは未だのようです。私の俳人(?)人生はこれからです。

同好会の行事ご案内（8月～10月）

1. 第86回歩こう会【大洗海岸を歩く】

大洗駅を出発し、史跡、寺院そして神社を巡りながら、大洗海岸を歩きます。

- ・開催日：令和3年9月17日(金) 雨天9月30日(木)
- ・集 合：鹿島臨海鉄道大洗駅 午前10時
- ・コース：大洗駅発→金剛院→須賀神社→日下ヶ塚古墳→西福寺→幕末と明治の博物館→与利幾神社→大洗磯前神社(昼食)→磯節発祥の地→神磯の鳥居→髭釜道祖神社→大洗駅 (始め少し登り下りあり、その後ほぼ平坦地 全長7.8km)
- ・持参品：弁当、雨具、飲物、マスクなど
- ・会 費：200円(非会員500円)
- ・申込締切：令和3年9月10日(金)
- ・申 込 先：小野瀬 秀夫
Tel/Fax：029-282-4124
E-mail：h1941.0830.onose@tenor.ocn.ne.jp

2. 研修会

研修会は、新型コロナ感染防止対策の実施が困難なため、当面の間中止します。

世話人：奥村 清
TEL：090-1252-7396
FAX：0294-36-0308
E-mail：kiyoshi-okumura@net1.jway.ne.jp

コロナ禍により各グループは開催場所の確保に苦慮しております。
このページに掲載された行事予定(開催日・場所・時間・参加費など)は変更される事がありますので、各グループから、茨ネット等により連絡される情報をご確認下さい。

3. 定例行事予定一覧

グループ名	連 絡 先	実施予定日(曜日)			場 所	時 間	備 考
		8月	9月	10月			
野鳥・自然観察グループ	石川皓 0294-53-7064 aishikajp@ybb.ne.jp	休み					参加費：¥300/回 原則雨天中止
			20(月)		栗原	9:00～12:00	
				18(月)	赤羽緑地・久慈川河口	9:00～12:00	
囲碁の会	日立地区 真鳥岩男 0294-74-5285 sp8k8z59@lake.ocn.ne.jp	11(水) 25(水)	8(水) 大会 22(水)	13(水) 27(水)	別途指定	10:00～(大会 9:30～)	参加費：¥100/回 大会：¥1000
	20(金)	17(金)	22(金)				
	勝田地区 七海 清 029-273-8450 fwny8718@nifty.com	19(木)	16(木)	21(木) 大会	大島コミュニティセンター	9:00～	参加費：¥200/回 大会：¥700
料理教室	並木慎一郎 029-283-1476 s-namiki@themis.ocn.ne.jp	16(月) 23(月)	20(月) 27(月)	18(月) 25(月)	らぼーるひたち	9:45～	参加費：¥1700/回
卓球クラブ	村上勝雄 0294-24-2430 mkattyan@herb.ocn.ne.jp	4, 18 25(水)	1, 8, 15(水)	6, 13, 20(水)	会瀬体育館	9:00～12:00	参加費, 会場費等 まとめ：¥4500/年
デジカメクラブ	溝口忠憲 029-219-6576 mizogut@beach.ocn.ne.jp	2(月)	6(月)	4(月)	別途指定	13:00～17:00	参加費：¥500/回 昼食別途
写真五七五	細江 徹 0294-42-9126 tohru92@road.ocn.ne.jp	6(金)	3(金)	1(金)	水木交流センター	9:00～12:00	参加費：¥300/回 昼食別途
PCグループ	基礎講座 安田 出 0294-37-1959 yasuda@i.email.ne.jp	3(火)	7(火)	5(火)	別途指定	9:00～15:00	参加費：¥1000/回 昼食費含む
	勝田地区 佐々木六漏 029-275-2567 sasak6318@nifty.com	24(火)	28(火)	26(火)	ひたちなか市ワークプラザ	13:15～16:00	参加費：¥500/回
	HTML講座(Ⅲ) 安田 出 0294-37-1959 yasuda@i.email.ne.jp	19(木)	23(木)	21(木)	別途指定	9:00～15:00	参加費：¥1000/回 昼食費含む

注) 旅行会(連絡先：溝口忠憲)は、開催が不定期なので、茨ネットを通じて開催をご案内しています。

訃 報 誠に残念ですが、苦楽を共にした次の方

がお亡くなりになりました。

山内 淳夫	令和02年12月24日	満86歳
川本清四郎	令和03年2月18日	満80歳
飯島 省三	令和03年2月22日	満81歳
米澤 宏	令和03年5月15日	満79歳
渡部 正敏	令和03年5月18日	満79歳
瀧田 修身	令和03年5月23日	満84歳
好永 俊昭	令和03年6月5日	満80歳

編集後記

石川さんの野鳥に魅せられて、工場勤務、出張等の現役時代、定年後の全国探鳥行脚。これらの経験を生かし日立市を中心とした小学校の野外授業支援、自然公園設置の鳥類調査、環境フェスタ等のボランティア活動。立派です。谷中さんの「日本の高速道路を自分の車ですべて走る」突拍子もない宣言をしましたネ。無事無事故で全国走破。同行の奥様への配慮で、名所観光地巡りが随所に入り満足されたことでしょう。良い思い出となりましたネ。

谷口 正俊